



# 川西町会 農休み

毎年恒例に行われている川西町会の農休みが7月2日(日)、行われました。マレットゴルフは熱戦が繰り広げられました。消防団による初期消火訓練にも積極的に参加。焼き肉大会では、老若男女総勢90名がさらなる親睦を深めました。



# 神林地区各町会の行事

5月から7月にかけて神林地区の各町会で様々な催しが行われました。マレットゴルフ大会、自主防災訓練、球技大会など。それぞれの様子を各町会の館報編集委員が紹介します。



平成29年7月1日現在	総世帯数	1,847世帯
総人口	4,781人	
男	2,326人	
女	2,455人	

# 川東町会 球技大会



恒例の川東球技大会が6月18日(日)、開催されました。百瀬町会長の始球式を合図にソフトボールとグラウンドゴルフがスタート。老若男女で笑いあり涙ありの熱戦が繰り広げられました。参加された皆さんお疲れさまでした。ソフトボールの結果は、

- 優勝 東村 2位 南村
- 3位 北村 4位 南部



# 町神町会 自主防災訓練

7月2日(日)、午前8時のサイレン・避難放送と共に全町民が4カ所の一時避難所に集合して、点呼確認をしました。その後、公民館で芳川消防署員の指導の下、小型消火器を使った初期消火訓練と、AED等を使った応急救護講座を行い、防災意識を高めました。



# 南荒井町会 マレットゴルフ大会

5月28日(日)、松本平広域公園で24チーム、選手役員100人余りが参加してマレットゴルフ大会で親睦を深めました。当日は快晴。終了後は常会ごとに楽しい慰労会となりました。

- ▽優勝 1部常会
- ▽準優勝 5部常会
- ▽3位 3部常会
- 7部常会



# 寺家町会 常会対抗球技大会

5月14日(日)、神林体育館及び農村広場で開催されました。身近な大会で毎年大勢の方々が楽しみにしており、本年も約150名の老若男女が参加し、会場は終始笑顔と歓声に包まれていました。新種目のニチレクボール(室内ペタンク)では参加者は上手いくく方法を話しあい、更に親睦が深まりました。

# 梶海渡町会 行事



7月2日(日)、マレットゴルフ大会は、雨も心配されましたが、よい天気となり、約40名・12チームが参加し楽しくできました。防災訓練は、消火器の使い方、また、地震災害時の対応や行動のしかたを芳川消防署神林出張所の職員の方から教えていただきました。



# 下神町会 マレットゴルフ大会

6月18日(日)、マレットゴルフ大会が総勢58名参加、16チームにて開催されました。天気は曇りがちでそれほど暑くも無くプレーするには絶好の日でした。ホールインワンも出る等、好成績が続出し、各自の力を十分発揮できた楽しい大会になりました。

# 神林の美化活動

## ○アレチウリの駆除

5月20日(土)、早朝6時より鎖川堤防に生えたアレチウリの駆除作業を各町会関係者で行いました。天候にも恵まれ、無事に終了することができました。



## ○三間沢川の清掃

5月末から6月初旬にかけて、三間沢川の清掃を各町会役員及び衛生部等で行いました。うっそうと茂っている雑草など、綺麗にする事ができました。



# わがまち自慢 ①

## 神林神社(寺家)



縁起によれば、承安三年(平安末期一七三年)地頭平野刑部がこの地に鶴岡八幡宮を勧請したのが始まりといわれ、その後、諏訪明神を合祀し、さらに梓川の引水により、神林が肥沃な地帯となつたことを感謝して梓川神を併せ祀つたといわれています。また明治四十年に村内の無格社十八柱が合祀されました。天文二十一年(一五五二年)と元和八年(一六二二年)に火災で焼失しましたが、寛永二年(一六二五年)に再建され、その後本殿は元禄十三年(一七〇〇年)に改築されています。神楽殿は簡素で均整のとれた造りになっています。身近な総鎮守、心の拠所として大切にしていきたいでしょう。

〜神林神社案内板より〜

〜生きがい仲間づくり〜

南荒井フォトクラブ

シリーズ 神林のサークル 24

会員18人。13年目の活動を迎えました。平成26年にはクラブ創設10周年を記念して『かがやく一瞬』をテーマに梓川アカデミア館で写真展を開催しました。

乗鞍高原や県内の渓谷で撮影した涼感あふれる風景を始め、色彩にとんだ蝶の写真を遠くは中国九寨溝の絶景を撮った作品など多彩な作品展示を行い好評をいただきました。

定例会は2か月に一度開催。春の日帰り、秋一泊の撮影会を開催して会員相互の技術向上と親睦を図っています。

丸山博久会長は「訪れた地域の美しいものを食べて良い写真を撮りたい」と意欲的です。作品を神林文化祭に出品する他、相澤病院やアイシテイで展示して大勢の皆さんに見ていただく計画です。

# パソコン喫茶



福祉ひろばで毎月一回のパソコン喫茶が開催されています。講師に南荒井の上原章さんを招き、テキストは使わず自分のレベルに合わせて、皆で楽しく、互いに教え合いながら交流しています。教室の後には、お茶を飲みながら、よもやま話で楽しい時間を過ごしています。

毎月第3木曜日の午後、来年3月までの予定です。参加者募集中。詳しくは公民館へ。

## キーワードはなに?

本紙神林版の記事内にキーワードの文字が散りばめられています。見つけて言葉にしてください。わかった方は神林公民館に備え付けの用紙に必要事項を記入してご応募ください。正解者の中から毎回抽選で**10名に500円分の図書カード**をプレゼント!締切は**8月31日(木)**、当選発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。多数のご応募お待ちしております!

【前回の答え】 さくらんぼ

【今回のキーワード】 ○○○○○

# 鎖川

登山ブームで多くの登山者が信州の山を目指してやってくる。◆登山の魅力は、登った者しか味わう事が出来ない。また登山は、常に危険との隣り合わせでもある。◆遭難のたびに、救助活動も大きく報道され、御嶽山噴火のような自然災害でも「登山は、『自己責任』だから公費救助は必要が無い」と巷でささやかれることがある。◆自己責任は本来自己の自由意志に基づいて決定することであるが、我が国の場合は、例えば経済的強者が、「努力しないから」と、貧困層の弱者に向かってその責任を押し付けたり、「依存症」になるのは本人の意思が弱いからと、業界が無責任を主張する言葉として用いられたりすることがある。◆確かに装備と経験が不足し、登山保険などに未加入の登山者が多数いるのも事実であるが、遭難したくて入山する者はいない。◆自己責任のそしりを言われぬように、計画と準備をしっかりとって安全登山を目指したい。

